

114  
A2239



明治十年九月一日

卿

輔

石橋權少書記官

統計課

書記官

本府年報書ノ係昨年十二月中太政官ヲ請達ノ旨之  
第三四年報書ニ至テハ同官請達ノ例外ニ准於改良一  
完全ヲ要シ且勿論ニ必匠來各寮課ヨリ具呈セル年報  
書タル間、各主任、於テ緊要ノ事件ヲ掲出セラルモノ不  
到底本府年報書ノ材料ニ供スルニ足ラサル而已ナラス又其  
司課事務ノ実況ヲ概見スルヲ得ス故ニ大藏卿年報書編  
修ノ際、臨ニ資料ノ缺乏ニ困ニ多クノ手數ヲ勞シ且往復

大正十一年四月  
大隈侯爵郵務大臣



向訊等、為、日子、隨、上呈、後期、恐、之、之、  
尤、通、各、局、課、之、豫、之、品、達、成、成、度、依、右、案、系、緊、要、  
件、之、尤、之、取、補、申、申、也、

以達案

本省年報書、係、先、般、太、政、官、之、品、達、成、成、度、報、告、例、  
外、之、概、九、年、度、之、屬、之、年、報、之、一、層、之、完、滿、之、要、之、  
之、白、之、其、概、務、之、內、別、命、之、事、件、之、更、之、我、年、報、之、資、  
材、之、供、用、ス、キ、之、之、如、修、一、週、年、之、事、跡、之、一、覽、之、  
瞭、ラ、レ、ル、様、立、案、叙、述、之、其、概、年、報、書、中、之、編、入、之、  
依、之、別、紙、概、畧、例、外、之、品、達、成、成、度、依、右、案、系、緊、要、  
限、之、之、可、差、出、此、旨、也、  
但、之、其、概、年、報、書、編、成、之、於、合、之、之、別、冊、之、成、成、也、  
不、若、如、修、可、成、成、之、之、可、差、出、事、

明治十年月日

卿代理  
輔

租稅局長  
關稅局長  
検査局長  
國債局長  
出納局長  
紙幣局長  
議案課長  
銀行課長

各通



各種收税ノ事

一前會計年度ノ收税ヲ以テ其年度ノ豫算ニ對照シ其増減セシ事由及ヒ事故ヲツテ不納セラルモノアリハ一々其理由ヲ明辨スル事

二前會計年度ノ決算ニ屬スル收税ノ統計又ハ各收税ヲ以テ既往三年間ニ比較シ本會計年ヲ併セ都合五ヶ年ニ涉リ其増減セシ沿革ノ概略ヲ説明スル事

三本會計年度ル年報編成ニ當ル年收税現計ヲ以テ其豫算ニ對照シ既納未納超過等ノ景况ヲ記載シ併セテ其結局ノ云為ヲ概陳スル事

四翌會計年度ノ收税豫算ニ於テ按算セシ事由及ヒ其前ニ屬スル未納税ノ計數ニ就キ陳辨スル事



右ハ其局ヨリ報告スル事務成蹟主要ノ儀付一篇  
ノ文章ヲ前段數位ノ順序ニ從ヒ四段落ヲ分別シ起  
草スハシ尤モ文章中計數ノ多端ナルモノハ其畧表ヲ  
挿入シ勉メテ文體ノ煩雜ヲ避ケ以テ收税ノ大体及ヒ  
其實況ヲシテ一目明瞭ナラシムル様注意編成致スハ  
キ事

右租税局

輸出入貿易ノ事

一本會計年<sup>ルキ報編成ニ當</sup>貿易各主要品  
舉ケ之ヲ前年度ニ對比シ其盛衰増減セ  
概畧陳明シ中ニ就キ其品柄ニ由テハ既往數<sup>キ</sup>  
溯リ説明意見等ヲ附シ稟報スル事  
二本會計年間貿易ノ全計及ヒ收税貨幣出入船舶出  
入等ノ統計其他我カ商估ノ輸出入セン統計及ヒ  
我船舶ヲ以テセシ統計ニ就キ之ヲ<sup>統計</sup>凡<sup>四</sup>年  
間ニ比較シ其増減得失ヲ陳辯スル事  
右一篇ノ報告文ヲ編成スルニ當テ多端ノ計數ニ涉ル  
モノハ其畧表ヲ挿入シ我カ貿易ノ大勢及ヒ其實況  
見ルニ足ルヘキ様注意致スヘキ事



七  
又

諸般經費ノ事

一前會計年度經費ノ結算ニ屬スルモノヲ  
 度ノ豫算ニ對照シ過不及アルモノハ其金  
 掲シ中ニ就キ著シキ増減アルモノハ其事蹟ヲ  
 記稟報スヘシ且臨時費ノ如キハ官省府縣等、續  
 給セシ各計數ニ就キ一々其事白ヲ陳言スル事  
 二右年度ノ決算ニ屬スル歳出ノ總計又ハ大科目ヲ  
 以テ既往三年間ニ比較シ本會計年ノ經費ヲ詳セ  
 五ヶ年ニ涉リ其増減セシ沿革ノ概畧ヲ説明スル  
 事

三本會計年間年報編成ニ當現支出勘定帳ニ依  
ル依ヲ以テ其豫算ニ對照表出シ其金額ノ既  
ハ減減或或未未支給



右一篇ノ報告文ヲ要ス

陳述スル事

税外收入ノ事

一前會計年度ノ官工收入税外雜入等ノ租税ニ非  
ル歳入ハ其年度ノ豫算ニ對照シテ過不及アリ  
、其事由ヲ開陳スル事

二右年度ノ官工收入及ヒ其諸費ヲ以テ既往數年間  
又ハ創業ニ溯リ之ヲ比較表出シ本會計年度  
況ニ照シ其増減得失ノ沿革ヲ概言スル事

三本會計年度ノ年報編成ニ官ノ收入現計ヲ以テ  
ニ對照シ其既納未納超過等ノ事由ヲ稟報  
右一篇ノ報告文ヲ要ス

と云

歳入出豫算

一翌會計年度ノ歳入出豫算ヲ表上シ其  
ハ各廳ハ往復推問シ以テ之ヲ調成セル事  
瞭ニ陳辨スル事

但シ該豫算ハ年報書進呈期限ニ於テ未タ  
ハ上呈布達アラサル前ナリ若シ他日決議ノ  
上其金額ノ増減アルモ之ニ關係ルナキ事  
ニ於テ既ニ調理ヲ遂ケ本局ハ差出セルモ  
テ然ルハキ事

右一篇ノ報告文ヲ要ス

以上ノ件ハ其局ヨリ報告スルキ事訪成跡



ルモノシニ 各省年報書ニ知成  
キ儀ニ付各一篇ニ一三ノ順序ニ從ヒ數大  
分別シテ陳述スルモ右報告文中諸計數ニ非  
ハ其畧表ヲ挿入シ文体ノ繁雜ヲ避ケ前段歳出ノ大体  
及官業收支ノ實況等ヲシテ一目明瞭ナラシメ其  
失利害ヲ判知スルニ足ルハキ様注意編輯致スル事

右検査局

準備金ノ事

一本會計年 中<sup>年報編成ニ當リ</sup>第三類準備ノ入  
表記シ該年六月二十日所存高ノ計算ヲ以  
度ニ比較シ其損益増減及運轉ノ事由ヲ  
報スル事

二前會計年度ノ第二類準備歳入出ノ結算ヲ  
其度ノ豫算ニ對照シ増減ヲ生スルモノハ其事  
ヲ概記シ又之ヲ既往數年間ノ入出ニ比較シ  
各類準備ヲ併セ其起立ヨリ沿革ノ大要ヲ申  
スル事

三本會計年度中ノ現計ヲ以テ豫算ニ對照シ其  
ニ関スルノ登錄シ或ハ結算上過不  
申報スル事

備就



右一篇ノ報

國債ノ事

一公債各種ノ統計、本年度中増加セシ統計、及  
 二シ元利總計等ヲ列記シ各其事由ノ説明ヲ  
 三シ又翌年度中増加スル公債及償還ス  
 四シ利ノ豫算額ヲ掲載シ随テ其増加スルキ理由及  
 五償還スルキ方法ヲ登録スルシ都テ右等  
 六國債ニ関スル事件ハ本年度ヲ始メ翌年又  
 七ニ溯リ比較照訂シ諸般ノ景況ヲ見ル  
 八キ様編成申報スル事  
 九右一篇ノ報ノ文ヲ要ス

秩祿處ノ事

一明ノ四年ノ廢止済ニ至ルマデ諸  
 二統計及ヒ三年ノ増減ノ比較表出シ其終  
 三由ノ概概ヲ説明シ  
 四本年度結尾ニ後支給スルキ殘祿ヲラハ其  
 五ヒ事故ヲ陳述シ併セテ翌年度ニ後金祿公法  
 六ノ割合ヲ掲載シ且之ヲ既往ニ比較シ其減額ヲ  
 七シ以テ廢藩已來秩祿ニ関スル諸般ノ沿革ヲ  
 八ニ足ルヘキ様申報スル事  
 九右一篇ノ報告文ヲ要ス

諸貸共金ノ

七七八



一本會計

統計ノ中債出追加

返納棄捐ノ返納ノ年度未償付ノ統計ニ就キ各其事由ノ大畧ヲ説明スハシ中ニ就キ償出及ヒノ如キハ其事故ヲ説明スルニ當テ一層ノ記要ス

二各年末即チ會計年度結尾ニ於テ償付未納高ノ計及ヒ償出返納等ノ合計ヲ列挙シ著シク増減アルモノハ其概況ヲ申報スル事

右一篇ノ報告文ヲ要ス

以上ノ數件ハ其存ヨリ報告スルキ事務成頭ノ主目トモノテ本省年報ニシテ編成スルノ資料ニシテキ儀付シテ一篇毎ニ一二三ノ順序ニ從テ數大段

七九

二分別編

スハシ只モ報告文ニシテ數ニ分ハ成

表

ヲ避ケ以テ準備區其後ニ

付等各位

況ヲ一詳明瞭ナラ

ル様注意

成致ス

右國債局



貯蓄米買 貝ノ事

一、本

米

等

計

数

記

各

其

事

又之ヲ前年度ニ比例シ其損益増減等ノ大

報スヘシ中ニ就キ輸出米ノ如キハ既往三

リ本年度ニ至ルマテノ大計ヲ掲ケ之カ説

付シルニ當テ一層注意シ詳細ニ申報スル事

ニ各地方ニ於テ買入タル米價ノ高低及ヒ其

他運搬ノ難易ニ就キ東北地方ト西南諸州ト

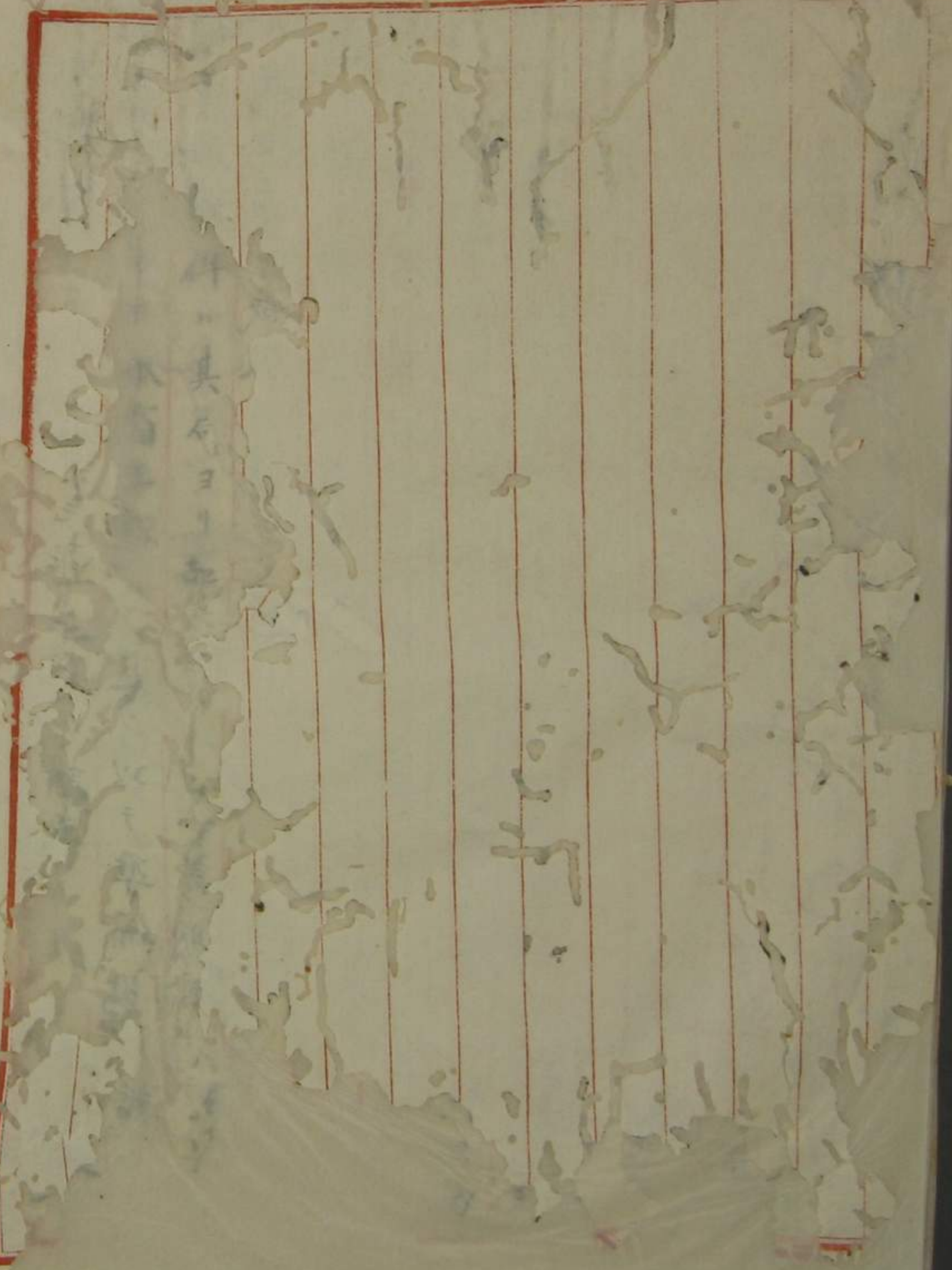
例シ毎石ノ平均費用ヲ表記辨明スル等總テ

米買賣ノ関スル事件ハ其實況ヲ稟報スル事

右ハ本者年

スル 要材ニ付其局

又





調差出スルハ  
ノ順序ニ従ヒ文章  
計數ニ涉ル分ハ其畧表ヲ挿入シ文体ノ繁雜ヲ感  
服ノ實況ヲシテ一讀明瞭ナラシムル様注意致  
事

右出納局

紙幣工場ノ事

一 本局  
紙幣  
ノ繁  
ノ多寡等總テ工場諸般ノ成果上ニ就テ其  
諸件ヲ稟報スル事  
二 副版製内雕刻抄紙等各工場技術上ノ現況及  
技術ニ関スル諸件ヲ申明スル事  
右ハ其局ヨリ報告スヘキ事務成績ノ主要タル事  
シテ本省年報書ヲ編成スルノ資材ニ供スヘキ義ニ付  
一二ノ順序ニ従ヒ一篇ノ文章ヲ數大段落ニ分別陳述  
スヘシ最モ計數ニ関ル分ハ其畧表ヲ挿入シ文体ノ  
雜ヲ避



意編成致

古紙幣局

七十一

造幣工場ノ事

一 本分計... 種貨幣ノ鑄造高谷  
 地ノ、輸約及、其製分指セシ 秤量一入、貨幣其  
 ノ、試験表等各其... 列記シ之ヲ前  
 シ工場ノ繁閑經費ノ増減收益ノ多寡其外硫酸  
 製造等總テ工場諸般ノ成果上ニ就キ其實況ヲ洞  
 察スルニ足ル様編成申報スル事

二 該局中各工場ニ従事スル技術ニ就キ諸般ノ學業  
 鍊磨等總テ技術ニ関スル事ハ其程度ノ進否  
 ヲ申明スル事

右ハ本省年報書ヲ編成スルノ要材ニ付其課造幣  
 掛ニ於テ取調草案差出スルニ最モ右草案ヲ編成スル  
 ニ當テハ一ニ順テ、從ニ文章ヲ數大既落ニ分別陳



述スハシ但シ其表 涉ルルハ其畧表ヲ挿入シ文体  
繁雜ヲ避<sup>ケ</sup>諸般ノ實況ヲシテ一讀明瞭ナラシムル様  
注意致スハキ事

右議案課

七十三カ

國立銀行ノ事

- 一各銀行ノ資本額  
ノ損益勘定等ノ統計表出シ之ニ附スルニ説明ヲ  
以テシ全國銀行ニ出シ形勢ヲ了知スルニ足  
キ様稟報スル事  
但シ全國銀行ノ數ニ就キ適宜ノ區畫ヲ設クハ  
シ假令ハ東京府内、京坂二府、開港場、各縣ノ類ノ  
如シ
- 二各銀行ノ株金、政府ハ預ケタル公債証書、高紙幣配  
付發行高、引揚及ヒ交換高、流通高、引換準備金、高、等  
ヲ表記シ各其幾何ノ比例ヲ示シ隨テ其事由アル  
モノハ之由説明ヲ付シ其景況ヲ申報スル事
- 三銀行營業上ノ實況及ヒ銀行類似ノ會社并諸般幣



流通ノ景況即ち各地方金融ノ形勢ヲ説明論辯ス

ル事

右ハ本省年報書ヲ編成スルノ要材ニ付一二三ノ順序  
ニ從ヒ文章ヲ數大改落ニ分別開陳スヘシ最モ計數ニ  
涉ル分ハ其畧表ヲ挿入シ文体ノ繁雜ヲ避ケ銀行營業  
上及ヒ財路融通ノ實況一見洞察スルニ足ルヘキ様注  
意編成致スヘキ事

右銀行課